

☆☆☆ AAC TECHNICAL OFFICE ☆☆☆

建設コンサルタント(道路・下水・造成開発設計・測量表示)



株式会社 アアク設計

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年9月1日～2024 年8月31日)



エコアクション21
認証番号0010482

発行日：2024年12月6日

目 次

項 目	ページ
I. ごあいさつ	2
II. 組織の概要	3
III. 認証・登録の対象組織・活動	3
IV. アクセス	3
V. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
VI. 主な環境負荷の実績	5
VII. 環境経営目標及びその実績	5
VIII. 環境経営計画の取組結果とその評価	5
IX. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	7
X. 緊急事態対応訓練	7
XI. 代表者による全体の評価と見直し・指示	8
XII. これまでの環境活動の紹介	8

I.ごあいさつ

株式会社アーク設計は、建設コンサルタント部門（道路・下水・都計）と測量の分野で技術力を活かし、社会に貢献することを理念として営業してまいりました。昭和21年に設立された株式会社宮本工務設計事務所より、平成19年4月実績を完全に引き継ぎ再スタートいたしました。多くのお客様から絶大なる信頼とご支援を賜りながら堅実な経営を営み、お陰様で現在に至っております。

2013年に当社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、地球環境に優しい企業として、新たな一歩を踏み出しました。

これを全社員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に環境負荷の低減に取り組んで行くことを宣言します。

環境経営方針

1. 環境経営の継続的改善を誓約します。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことに遵守することを誓約します。
3. 二酸化炭素排出量の削減を推進します（電気、ガソリン）。
4. 廃棄物排出量の削減及び廃棄物の再生利用を推進します。
5. 水道使用量の削減を推進します。
6. グリーン購入を推進します。
7. 環境に配慮した製品を使用する設計、環境に配慮した測量をすることにより、社会貢献することを目指しています。
8. 作業手戻りの削減に取り組みます。
9. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2013年9月1日

改定日：2021年9月1日

代表取締役 畑 淳一

II.組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社アアク設計
代表取締役 畑 淳一
- (2) 所在地
本 社 千665-0022 兵庫県宝塚市野上一丁目2番7号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者兼担当者 測量設計課 梅脇 宏昌 TEL:0797-71-0432
FAX:0797-71-5139
E-Mail : aac@joy.ocn.ne.jp
- (4) 事業内容
土木設計 (道路・橋梁・河川・土木構造物・都市計画・開発・宅地造成)、
公共測量 (基準点・地形・地積・路線・高低測量)
- (5) 事業の規模
売上高 103百万円 (2023年度実績)
- | | 本 社 |
|-------|---------|
| 従業員 | 13名 |
| 延べ床面積 | 967.69㎡ |
- (6) 事業年度 9月1日～8月31日

III.認証・登録の対象組織・活動

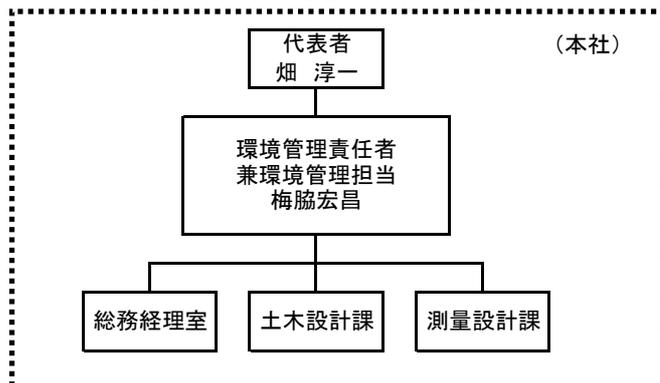
登録組織名： 株式会社アアク設計
対象事業所： 本 社
活動： 土木設計 (道路・橋梁・河川・土木構造物・都市計画・開発・宅地造成)、
公共測量 (基準点・地形・地積・路線・高低測量)

IV.アクセス



V.環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2018年2月8日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・全体の評価と見直しを指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
環境管理担当	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営活動レポートの作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・従業員への環境経営方針の周知 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規制等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・特定された項目の手順書作成 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状 ・特定された項目の運用管理 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

VI. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	15,518	13,976	13,804
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	765	742	677
水道水使用量	m ³	114	106	103

※二酸化炭素排出係数（関西電力） 0.309 kg-CO₂/kWh R4年度各社調整後排出係数（調整後）を使用
 ※二酸化炭素排出係数（大阪ガス） 0.455 kg-CO₂/kWh

VII. 環境経営目標及びその実績

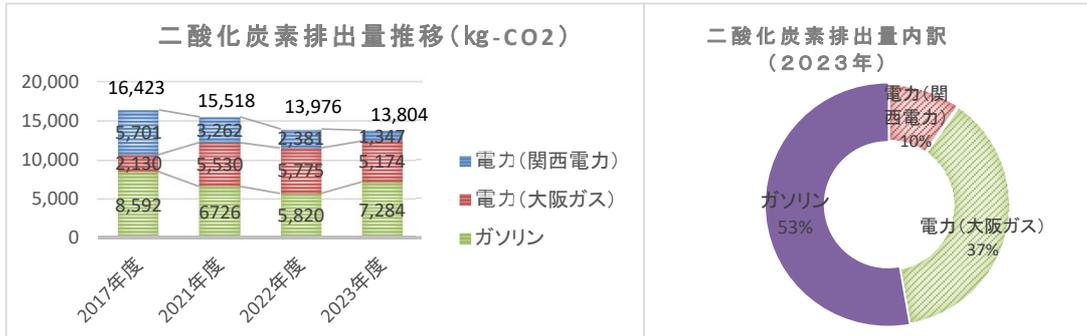
項目	年度	基準値 (基準年)	2023年		評価	2024年 (目標)	2025年 (目標)	
			(目標)	(実) 達成率				
電力の削減	kWh	18,734	18,266	15,730	116%	○	18,172	18,078
	基準年度比	2017年	97.5%	84.0%			97.0%	96.5%
ガソリンの削減	L	3,701	3,608	3,137	115%	○	3,590	3,571
	基準年度比	2017年	97.5%	84.8%			97.0%	96.5%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	16,423	16,012	13,804	116%	○	15,930	15,848
一般廃棄物の削減	kg	783	763	677	113%	○	760	756
	基準年度比	2017年	97.5%	86.5%			97.0%	96.5%
水道水の削減	m ³	132	129	103	125%	○	128	127
	基準年度比	2017年	97.5%	77.9%			97.0%	96.5%
グリーン購入の推進 (オフィス用品G購入率)	% (購入点数率)	-	-	75.0%		-	75.5%	76.0%
環境に配慮した測量、 設計の推進	行動目標(次項による)							

※人員減により負荷が減少し、大幅目標を達成しましたが、基準年当時の人員で定めた目標値として算出しています。

※化学物質の使用はなし

※評価基準 ○：月次、累計とも達成 △：月次又は累計が達成 ×：月次、累計とも未達成

※基準年度比 目標値/基準値×100(%)、実績値/基準値×100(%)にて算出

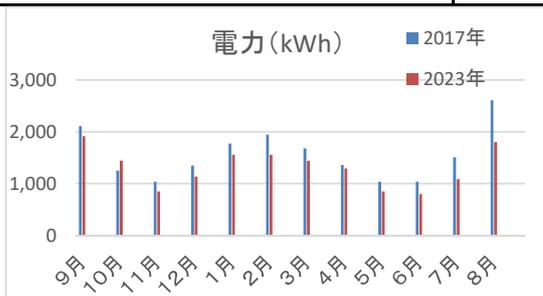


VIII. 環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	10月を除き、エアコンの適正温度管理の徹底により、消費電力が削減できた。 次年度も引き続き、不在時の消灯やコンピューター等、不要電力の削減に努める。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・サーキュレータの設置	○	
・不要照明の消灯	○	
・OA設備の電源管理	○	

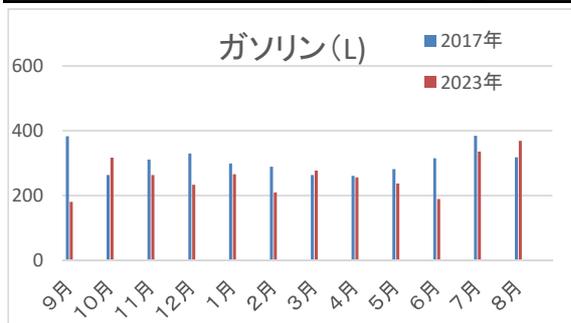


<省エネ>



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2017年	2,108	1,254	1,038	1,350	1,773	1,946	1,680	1,361	1,037	1,037	1,508	2,607
2023年	1,914	1,443	851	1,136	1,558	1,558	1,442	1,294	850	796	1,086	1,801

ガソリンの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標は達成。 次年度も引き続き、公共交通機関や自転車、バイク等の活用を推進していく。
・不要なアイドリングストップ	○	
・急加速・急停車の防止	○	
・効率的な移動	○	

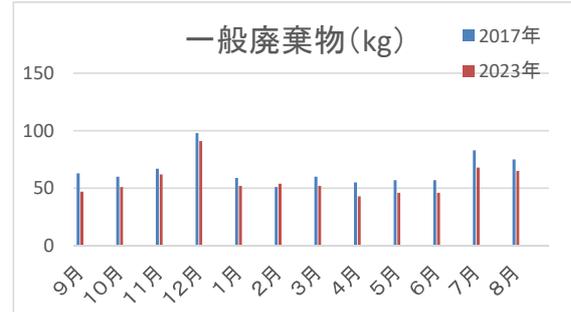


＜環境基準を満たした車両の採用＞



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2017年	383	263	311	330	299	289	263	261	282	316	385	318
2023年	181	317	264	233	266	210	278	256	238	190	336	369

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	リサイクル意識の徹底により、最終目標を達成することができた。 次年度も引き続き、裏紙の使用等、資源の再利用を呼びかけていく。
・分別の徹底	○	
・裏紙の使用（両面印刷）	○	
・コピー機の一括管理	○	

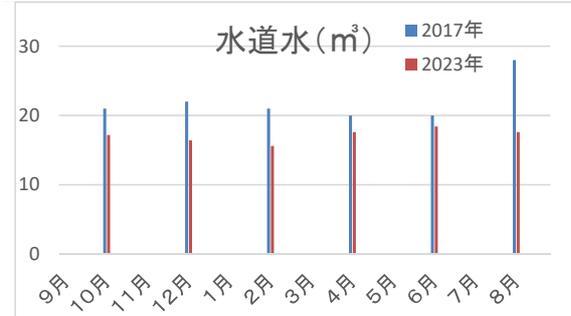


＜ごみの分別＞



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2017年	63	60	67	98	59	51	60	55	57	57	83	75
2023年	47	51	62	91	52	54	52	43	46	46	68	65

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標を達成。次年度も、節水を呼びかけて目標の達成に取り組む。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・清掃時、手洗い時の節水	○	



＜節水の呼びかけ＞



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2017年	0	21	0	22	0	21	0	20	0	20	0	28
2023年	0	17	0	16	0	16	0	18	0	18	0	18

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	-	グリーン対応品を社内に周知し、購入を促進することによって、環境維持の貢献に繋げることができた。 次年度以降は、パーセンテージによる目標設定を行っていく。
・事務用品の購入対象品目調査	○	
・事務用品の購入比率調査	○	
・事務用品の在庫管理	○	
・グリーン購入について周知徹底	○	

環境に配慮した測量、設計の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・環境に優しい設計の情報収集	○	測量時の適正な伐採やゴミの持ち帰り等、作業現場においても環境意識の徹底に努めた。今後も環境に配慮した資材の情報収集等も行い、提案に繋げていきたい。
・再生資材を使用した設計	○	
・測量時の伐採軽減	○	
・測量時のゴミの持ち帰り	○	

作業手戻りの軽減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組の開始	○	前年より取組を開始し、現状把握に向けチェックリストの見直しに着手した。

IX. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	委託業者の許可登録確認
測量法	公共測量作業規程
消防法	消火設備、警報設備等の設置及び維持義務
家電リサイクル法	特定家電の適正な事業者(家電販売店)への引き渡し
自動車リサイクル法	自治体に登録された引取業者への引渡し
資源有効利用促進法	廃パソコンの適正処理
フロン排出抑制法	フロン使用機器の廃棄時の適正処理、フロンガス漏れの防止と点検(定期点検を実施)、記録の保存

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

X. 緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024年2月27日(土)	■実施場所
■参加者： 畑、橋本、小畑、岩野、末永、梅脇、塚本、春名	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： ・消火器の点検を行った結果、期限等の問題はなかった。(有効期限2025年) ・防災具や避難器具の点検を定期的に行う必要があることを確認した。 ・避難経路に指定された通路に物を置かないなどの対応を継続して行う。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 ・緊急時の対応手順、および避難経路の確認を行った。 ・防災図を基に、避難器具や防災具、警報機の設置場所および内容の確認を行った。 (様式：11-01 (11 環境上の緊急事態への準備及び対応) 火災対応手順書に基づき実施。)	

XI. 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年12月6日

当社は地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを全社員が認識し、エコアクション21に取り組んできました。

2018年度に環境経営目標の再設定をし、今年度は全ての項目において目標を達成することができました。引き続き日々の積み重ねを信条に、一致団結しコツコツと取り組みを続けてまいります。

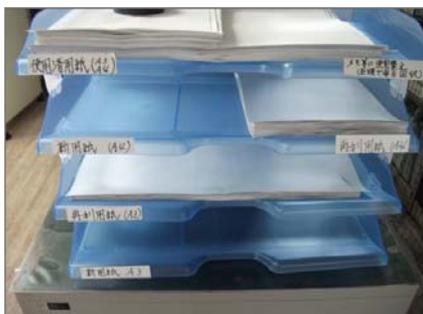
今後の課題としましては、継続的に電力使用による二酸化炭素の発生抑制に努め、また水道水の削減も節水を呼びかけ力を入れてまいります。また、作業手戻りの削減について取組を進めていきたいと考えております。

これまでの積み重ねにより、全社員の意識にエコアクションの取り組みがしっかり根付いている事について、評価できると考えております。2024年度も目標が達成できるよう、社員一同団結し行動することを期待しております。

2024年 12月 6日
代表取締役 畑 淳一

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

XII. これまでの環境活動の紹介



<裏紙の利用>



<非常用道具>

<ポスター>



<掃除風景>

電気には
紐をつけて
各自使用する
時に



<LED電球>